

中小企業の魅力を留学生に発信！

創価大学 経済学部 経済学科 勘坂ゼミナール

伊藤大貴、外山智佳

指導教員 勘坂純市

創価大学 経済学部経済学科 勘坂純市ゼミナール

キーワード：外国人留学生・中小企業・海外展開・商工会議所・出版社

【はじめに】

私たちの目的は八王子市の留学生と中小企業を結び付けることである。

近年、グローバル化の下、外国人留学生が増加している。彼らの多くは日本で就職を希望しているが、慣れない日本独自の就職活動に不安を抱えているのも現実である。また、大企業のみならず中小企業も海外展開へと事業の幅を拡大させつつある。しかし、中小企業は、海外展開をするにあたって必要とされる人材の不足という問題を抱えている。

私たちが提案する施策では、中小企業の魅力を日本で働きたい留学生に発信することにより、留学生は就職先の幅を広げることができ、また、中小企業は海外展開をするにあたって必要とされる人材となり得る留学生との接点が増えるのではないかと考える。

【現状分析】

＜留学生＞近年、日本で学ぶ留学生数は増加傾向にある。日本政府が留学生 30 万人計画を打ち出していることから、今後もその数は増加するだろうと考えられる。また、留学生の 63.6%が卒業後の進路希望として日本で就職することを挙げていることから、日本で就職したい留学生が多くいると分析できる。しかし、実際の進路結果を見てみると、日本の大学を卒業した留学生の 40%しか日本で就職できていない。留学生が就職活動中に困ったことの中で最も多かったのが「外国人向けの求人が少ない」ことであった。以上のことから、企業の求人情報が留学生に十分に伝わっていない

のではないかとという仮説を立てた。

＜中小企業＞社会のグローバル化にともない、大企業のみならず中小企業も海外へと事業の幅を拡大させつつある。実際に海外に子会社を持つ中小企業数が年々増加傾向にあることから、海外展開をしている中小企業は増加傾向にあり、今後更に増えていくだろうと分析できる。したがって、私たちは調査対象を海外展開している、もしくは海外展開を検討している中小企業に定め、更なる調査を行った。海外展開の要素の1つである海外輸出を行っている企業に関して調査をすると、約 30%が「海外展開に必要な人材の不足」という問題を抱えていることが明らかになった。そこで、海外展開をしている中小企業の人材確保の取り組み状況について調査をしたところ、約 30%が人材確保のための取組を行えていないことが分かった。そこで、実際に海外展開を考えている中小企業にお話を伺ったところ、慢性的に人手不足であること、留学生を採用したいにもかかわらずそのための取組が行われていないこと分かった。以上のことから、中小企業は海外展開のための人材不足に悩んでいるが、人材確保に取り組めていないと分析することができる。中小企業は、人材を確保する際の課題として、主に「手段やノウハウが乏しい」「時間的・体制的余裕がない」の2点を挙げている。

【課題】

現状から、企業の求人情報が留学生に十分に伝わっていない一方、中小企業は海外展開のための人材不足に悩んでいるが、人材確保に取り組めて

いないことを分析した。したがって私たちは、「求人情報が少ないと感じている留学生」と「海外展開のための人材確保に課題がある中小企業」をつなげることを課題に設定した。

【施策提案】

＜概要＞私たちが設定した課題を解決するための施策として、外国人留学生向けパンフレット Joblet!を作成するインターンシップを行うことを考えた。この Joblet!は中小企業を特集したパンフレットで、記事の執筆を担当するのは主に留学生である。私たちはこのインターンシップを八王子市内で6名ほどの留学生とそれをサポートする日本人学生に対して行う。期間は、夏休み・春休みなどの長期休みのうち3週間で実施することを定めた。八王子市で実施する理由は、八王子市および周辺部も含めて23の大学等がある全国有数の学園都市であること、また、東京都23区外の中小企業数を比較したときに、企業数が1.3万社と、最も多いからである。

＜詳細＞私たちチームIKが八王子商工会議所と連携をして、Joblet!プロジェクトに関する情報を八王子市の中小企業に拡散する。そして、Joblet!に記事を掲載することで留学生に企業情報を発信したい企業を募集する。その後、出版社でのインターンシップとして実際に留学生と日本人学生がJoblet!に掲載する企業を訪問し、取材・調査を行い、日本語と英語で記事を作成し、編集をして発刊する。Joblet!の内容は、留学生向けの求人情報、企業概要、作成した留学生の感想などである。最後に、完成したJoblet!を大学等で留学生に配布する。このインターンシップを行うことによって、出版社は八王子のPRをすることができる。また、外国人留学生のサポートとしてこのインターンシップに参加する日本人学生は、リーダーシップを発揮する機会を得ることができる上、今後グローバル社会で働くことに備えた経験を積むことができる。さらに、外国人留学生は、日本の働き方に対する理解を深めることができ、業務を通して多様な企業を知ることできる。

次に、私たちが施策としてインターンシップを

行うことを決定した経緯に関して述べる。私たちが独自に行ったアンケートやヒアリング調査から、留学生の多くが長期間のインターンシップに意欲的である一方で、中小企業にとって長期間のインターンシップの開催は大きな負担になるとことが明らかになった。Joblet!プロジェクトでは、留学生は出版社で長期間のインターンシップに参加できる上、中小企業は取材を受けるだけで良いので、負担を最小限に抑えることが可能である。したがって、この施策では留学生と中小企業の双方のニーズに寄り添うことができる。

＜期待する効果＞この施策の実施により、外国人留学生は就職に関する求人情報を得ることができ、中小企業は海外展開するのに適している人材に出会う機会を増やすことができる。したがって、この施策の運営により、私たちが設定した2つの課題「留学生が求人情報が少ないと感じている」、「中小企業では海外展開に必要な人材が不足している」は解決されていくと考えた。

＜費用＞出版社にとって必要な見込み利益20万円に製作費用見込み3万円を足した結果から、全体の掲載費を23万円と設定することとした。1回の発刊につき15社を掲載するので、各中小企業はJoblet!への掲載費として約1.5万円を支払う仕組みである。結果的に出版社に20万円の利益が出るため、年2回Joblet!を発行する持続可能なプロジェクトになると考えられる。

【展望】

今後この研究で創り上げたプロジェクトを通し、留学生に向けて中小企業の魅力や求人など、より多くの情報を周知させていきたい。そして、中小企業にとってなるべく負担のかからない形で留学生と出会える機会を増やし、海外展開に向けたサポートを行っていきたい。